



皆様 こんにちは。

お元気でいらっしやることと存じます。

今月は、皆様に、自分の地域社会でリーダーとして素晴らしい歩みを見せている3人の女性をご紹介します。彼女たちはそれぞれゾンタの賞を受けた人たちです。彼女たちの歩んだ道は私の経験した道と似ています。ゾンタが、その教育プログラムを通してもたらす素晴らしい機会を頂き、喜び、友情、利益を経験しました。皆様の取り組みと献金が支えるものの大きいことを、彼女たちのストーリーは示しています。

これからの二つのキャンペーンを楽しみにしています。一つは募金運動「会員それぞれが毎年11月に」です。ゾンタの誕生日を祝うとともに、私たちの目標達成の助けとなる地区間の友情のある競争です。もう一つは、「女性への暴力にNOと言う」ゾンシャン一人一人と各クラブの情熱です。今月、私たちが共に活動し、どのような成果を上げるかを見るのを待ち遠しく感じます。

最後に、私たちの財団の名称変更をお伝えするのを誇りに思います。（[公式発表](#)をご覧ください。）女性の権利を主張する組織として、この名称Zonta Foundation for Women（ゾンタ女性財団）は、疑いもなく私たちの活動を伝えてくれます。私たちの活動が更に世界中に注目されることに、私は心を躍らせています。

私たちの組織のために、そして世界の女性たちのために、皆様が行なって下さる活動に感謝いたします。

Sharon Langenbeck, Ph.D.  
President

---

## 指導者としての女性たち

### ネットワーク、教育、ゾンタの絆（きずな）

表面的には、国際ゾンタの特別奨学金、奨学金、及び賞金には明らかな役目があります、すなわち、典型的に男性が優位を占める分野において、成功を目指して努力を続ける女性たちへの資金援助です。しかし、そこに更に加えて、これらの賞や受賞者たちを真実、注目に値するものにするより強い影響力と長期にわたる効果があるのです。これらのプログラムは、受賞者たちに自立心を起こさせ、自己の分野において指導者となるよう励ます一方、その専門分野及びそれを超えた分野で、他の女性及び女子たちと集いネットワークを作ることを奨励しています、

過去3人の受賞者たちは、現在、ゾンタの特別奨学金・奨学金・報奨金委員会に参加しています。（ここに）受賞以来のリーダーシップ育成と継続的の新人教育を通して、このゾンタとの結びつきがどのように彼女たちの生活を変えたかを語ります。



Ella Sciamma O'Brien

Johanna Lampinen

Katharina Miller

#### ゾンタの指導者として:

エラ・シアンマ・オブライエン（写真、左）は、2005年と2006年、ゾンタのアメリカイアハート（AE）奨学金を受賞しました。その時、彼女は米国オースティンのテキサス大学で博士号の取得を目指して、プラズマの物理的特性および電気工学の研究中で、火星探査団のための電気推進システムに取り組んでおりました。AE賞金で、彼女は旅をし、科学関係の様々な会議に出席できました。

しかし、この賞が彼女にとって一番大きな影響を与えたのは、オースティン・ゾンタクラブの女性たちとの交流でした。ルイジアナでの会議中に行われた授賞式の後、オースティン・ゾンタクラブが毎月の例会に彼女を招き、最終的にはクラブの会員として受け入れました。

「年齢も違い、キャリアの段階も違い、背景も違う女性たちと出会ったのは、私が身をおいていた男性優位の世界と比べると、素晴らしく変化のあるものでした」とエラは言いました。「私の研究を通しての出会いではなく、大学とは異なった友情が生まれました。」

のちにエラはカリフォルニアに移住し、2015年にシャロン・ランゲンベックと出会いました。エリヤは、ゾンタと又つながりを持つことを喜び、9地区のアメリカイアハート奨学金委員長に任命されました。委員長として、彼女はアメリカイアハート奨学金受賞者たちと常時連絡を取り、授賞式の手配をし、募金運動の主演となり、オースティンZCにいた時のようなゾンシャン同士のつながりを作りました。

ジョアンナ・ランピネン（写真、中央）（J.M.クローズマン賞受賞者）も似たようなゾンタ歴の持ち主です。2002年にJMK（ジェイン・M・クローズマン）奨学金を受けたのち、2008年にゾンタに招かれゾンシャンになりました。ゾンタを通して、彼女は、模範とするのに足る印象深いキャリアを持つ多くの女性たちと知り合いました。

「何年前か、20地区が組織した教育プログラムに参加し、誇らしく又喜びを感じました」とジョアンナは言いました。「ゾンシャンでもあった私の指導者から受けた助言、支援、感動は、私のキャリアにとって、特に役員会での仕事に非常に貴重なものでした。」

ジョアンナは現在これらの能力を、国際JMK 委員会で発揮しています。

カタリナ・ミラー（写真、右）は、YWPA（若い女性の社会奉仕）奨学金を受けたことが自分の人生に大きな影響を与えたと感じています。それは、彼女が会員であり続け、また、YMPA委員会を通してこの賞との関係が続いているからです。1998年に地区レベルの賞を受賞したのち、カタリナはゲルトロード・シェイゲルに会いました。ゲルトロードはシュツットガルトZCの役員でYWPA奨学金の責任者でもありました。彼女は指導者として、カタリナの言う「魔法のつながり」を作り上げたのです。

カタリナは言いました、「素晴らしいプロフェッショナルな人たちに囲まれて自立心を刺激されました。その時、“優秀なプロになり、ゾンタ会員となる資格を持つ”という、私の次の目標がきました」と。

2011年にこの願いがかない、彼女はマドリッドkm0ゾンタクラブの会員となりました。仲間の会員からリーダーシップ開発支援を受け、カタリナはクラブ会長そして委員長になりました。その生活が続く中、2018年には、ババリアのゾンタeクラブに入会しました。

「私自身ドイツ生まれですが、今はスペインのマドリッドに本拠を構えています。そして、このドイツeクラブの会員となり、ドイツのゾンシャンたちとの関係を保ち続けることができます」とカタリナは言いました。「eクラブは、私の仕事と家族との忙しい日常にうまくフィットしています。（私は10歳、7歳、5歳の子供3人を持つ母親です）」

2020年7月以来、カタリナは、国際YWPA賞委員会の会員となり、これは彼女にとって大変な名誉であり喜びであります。

## 仕事の場でのリーダーとして

エラ、ジョアンナ、カタリナたちは、女性が公平に扱われていない分野での異なるキャリアの代表として、仕事の場で女性たちをさらにユニークな観点から眺めることができます。彼女たちに、女性が自分の組織の中でリーダーを目指すときのアドバイスを求めました。

彼女たち夫々のメッセージは似通っています。「チームと共に働き、自分を信じる」

「私は強く勧めます、“女性それぞれがリーダーとしての責任を引き受け、失敗をおそれないこと”を。そうです、あえて言えば、女性それぞれが失敗を容認することです」とカタリナは言いました。「ゾンタのおかげで、私が今まで率いて来た組織の中で学んだことがあります。注意深く聞き、共感を持ち、優れたコミュニケーションを持つこと、少なくとも私にとってはこれらが成功へのカギを握る最も重要な要素のいくつかです。」

ジョアンナのアドバイスは、殆どすべての状況においてリーダーを助ける魔法の質問です。

「あなたは自分に何を言いたいのか?」「リーダーはすべての答えを持っていてはいけなし、その必要もありません。だからこそリーダーを囲む全組織があるのです」と彼女は言いました。

エラもコミュニケーションが鍵だと感じています。「どのようにチームを作り成長させるか、そしてチームの成功を確実にするために誰に仕事を任せるかを決める戦略的な決断には知識が必要です」とエラは言いました。「コミュニケーションの手腕はリーダーシップに不可欠です。チーム・メンバーの言葉に耳を傾けること、そして、彼らの言葉が確実に聞き届けられたと理解してもらうこと、決断を下すときは彼らにも参加してもらい、チームを支援してもらうことです」

エラ、又、殆どの女性たちがリーダーとなったときに感じる大きな問題に立ち向かうようにと主張しました。

「私は、インポスター症候群（注釈：自分の能力や実績が高く評価されても、それを自分の能力や実力ではなく、ただ運が良かっただけと思い込み、自己を過小評価してしまう心理状態）を意識します。新しい高みに登ろうとした時、今までにないことをしようとする時、あるいは、私たちが行なうとは人々が思わないようなことを行なう時、この症状は常に心の隅に這い上がってきます。私はそれに負けません。あなたの決断、あなたの選択に自信を持つのです」と彼女は言いました。「サポートしてくれる組織を持つことが大切だと思います。ブレインストーミング（アイデアを出すこと）を共に行ない、アイデアを交換し合い、気持ちのはけ口となってくれるメンター（教師）あるいは友人がいれば、助けになります。リーダーの座にあることは甘い毎日ではありません」

ゾンタ女性財団への寄付を通じて、女性の教育、キャリア、生涯のリーダーシップを向上できる機会を提供するゾンタの取り組みを支援してください。



「国際ゾンタ財団」の名称を、世界的に認知されている私たちの使命と世界中の女性と少女のための活動を前面に押し出し、知名度を高めるために「ゾンタ女性財団」と名前の変更を発表しました。

それに関しては下記の発表をお読みください。

[Zonta Foundation for Women](#)



ゾンタの101年の伝統を祝うにあたり、国際ゾンタのプロジェクトとプログラムをご支援ください。「Every Member Every November（会員それぞれが毎年11月に）」地区チャレンジの詳細については、下のボタンをクリックして下さい。

[Every Member Every November](#)



Zonta Says NO to Violence Against Women キャンペーンは、女性の権利侵害に対する意識を高め、世界中のゾンタクラブを団結させ、女性と少女に対する暴力と戦うための影響力のあるアドボカシー活動を実施しています。

## Zonta Says NO Campaign

11月25日から12月10日までのキャンペーンに注目してください。



[www.zonta.org](http://www.zonta.org)

ソーシャルメディアを通じてゾンタの使命や活動を広めてください。

